

差別や偏りをなくした男女平等な社会へ

～みんながおなじ目線で意見を交わしあえる社会の実現を目指して～

バスコ・ダ・ツカナ

【はじめに】

はじめに、皆さんは「平等」という言葉について深く考えたことはありますか？平等とはなにか、3人で知っていることを話し合いました。でも話がまとまらず、平等とは何か深く考えることができませんでした。

「平等って何だろう？」平等にかかわる言葉はたくさん聞きますが、よく意味が分かりませんでした。なので平等について調べてみることにしました。

【平等とは】

「平等とは偏りや差別がなく、皆等しいこと」です。不平等な社会に不満を持つ人々が平等な社会を作り上げるためにデモや裁判を起こし、自分の考えを主張しています。平等な社会は私たちにとって不可欠なものです。不平等な事例はたくさんありますが、今回は「男女の不平等」という事例に視点を向けて考えていくことにしました。

【私たちが考えること】

①結婚した時に苗字を男性の方にするか女性の方にするかの割合

→苗字が変わったことで、結婚したという自覚を持てると思う。

②レディファースト

→日本が経済的に世界に比べて遅れているため、外国の文化としてレディファーストを取り入れるのは良いと思う。

③夫婦の家事担当の割合

→女性だけに家事や育児を押し付けると負担になってしまい、それが常識的になっているのはおかしいと思うから男性と均等に分担したほうが良いと思う。

④性別に限った車両や施設(女性専用車両etc...)

→女性専用車両はあるのに男性専用車両はないのは男女格差につながるから、どちらもあったほうが良いと思う。

【アンケート調査】

みんなの意見も聞いてみたいと思ったので塾の館生23人にアンケートをとりました。

アンケート内容は、

①不平等にはどんなものがあるか

②不平等だなあと感じることはあるか

③このなかで一番不平等だと思うものはどれか 　　です。

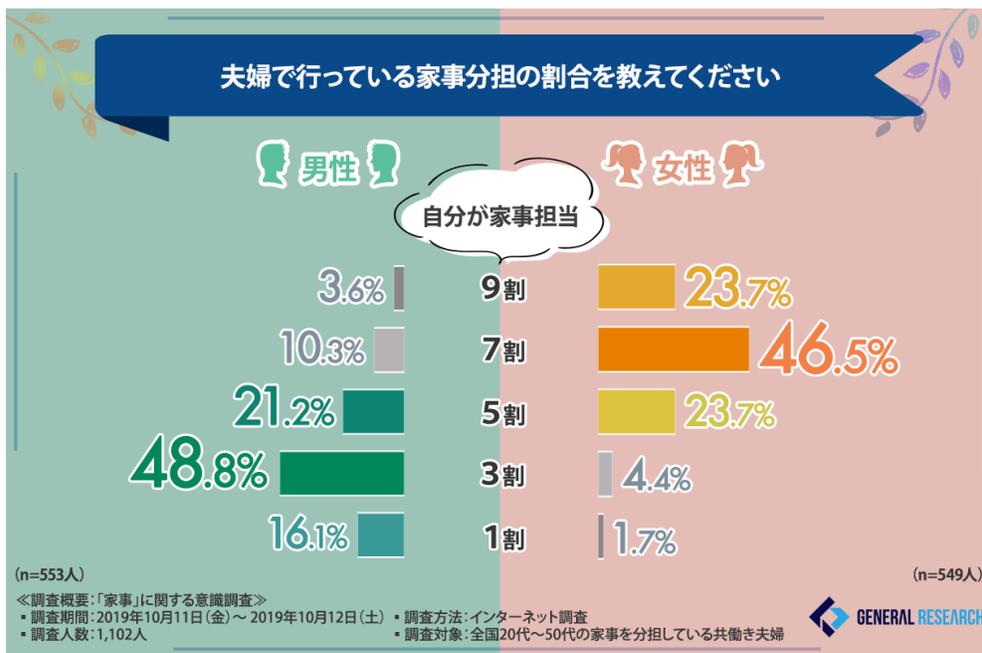
1 結婚した時に苗字を男性の方にするか女性の方にするかの割合

年号	西暦	夫の氏	妻の氏
昭和50	1975	98.8	1.2
55	1980	98.7	1.3
60	1985	98.5	1.5
平成02	1990	97.7	2.3
07	1995	97.4	2.6
12	2000	97.0	3.0
17	2005	96.3	3.7
22	2010	96.3	3.7
23	2011	96.2	3.8
24	2012	96.2	3.8
25	2013	96.2	3.8
26	2014	96.1	3.9
27	2015	96.0	4.0

2 レディファースト



3 夫婦の家事担当の割合



4 性別に限った車両や施設

KEIHAN
Keihan Railway

女性専用車両

🌸 Women Only

【平日ダイヤ】朝の特急

Mornings on weekday-timetable Limited Exp.

次の場合、男性のお客さまも女性専用車両にご乗車いただけます。
 ●身体の不自由なお客さま(介護者の方を含みます) ●小学校6年生以下のお子さま

出町柳ゆき [淀屋橋駅発] 6:39~8:51 [出町柳駅着] 7:35~9:46

淀屋橋ゆき [出町柳駅発] 6:09~8:49 [淀屋橋駅着] 7:05~9:45

の3つの
です。

項目

【アンケート結果】

①不平等にはどんなものがありますか。

- ・アパルトヘイト
- ・離婚した時には女性は100日間再婚できない
- ・性別によって利用できるものが違うこと
- ・人種差別
- ・身長
- ・お金持ちと貧しい人の差
- ・家庭の環境
- ・病気(発達障害)
- ・女性の賃金が安い

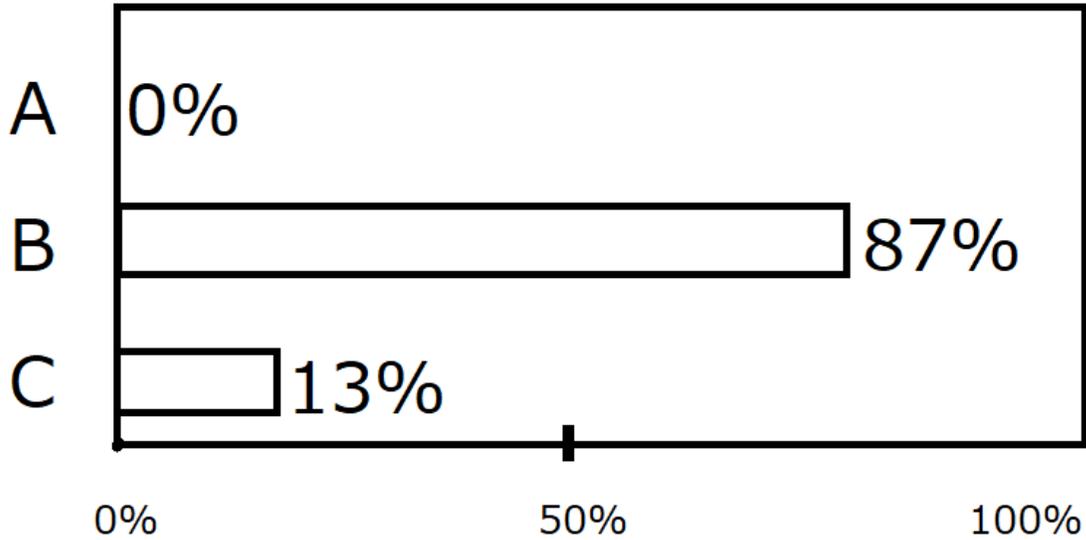
②自分が不平等と感じることはありますか。

- A よくある…0%
- B たまにある…87%
- C 全くない…13%

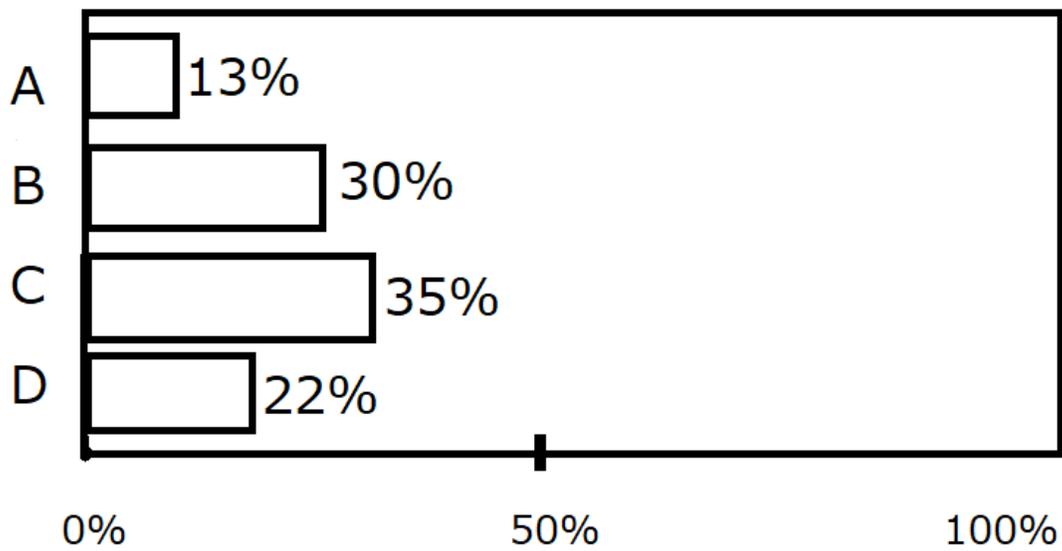
③この中で一番不平等だと思うものは。

- A 結婚した時に苗字を男性の方にするか、女性の方にするか…13%
- B レディファースト…30%
- C 夫婦の家事担当の割合…35%
- D 性別に限った車両や施設…22%

②のグラフ



③のグラフ



①では、性別によって不利になる不平等、見た目や体を悪くしている人に対する対応の違い、周りの環境による格差の3つに大きく分けることができます。その中でも、性別によって不利になる不平等に関係した意見が多かったです。

②では、自分自身が不平等と思うことはたまにあるという意見が約9割を占めていたことから、不平等は意外と身近な存在ということがわかりました。

③では、日常生活で目立ってくる、他のよりも身近な不平等を選ぶ人が多かったです。

【まとめ】

日常では、痴漢防止のための女性専用車両など必要な不平等もありますが、人種差別をはじめとする、明らかにおかしいと思う不必要な不平等もあります。なぜ人は様々な分野で争うのでしょうか。なぜ人は「お前は男なんだから」、「女の子なのに…」、「君は黒人だから」などという理由で、見下し新たな不平等をつくっていくのでしょうか。差別のないみんなが毎日楽しく、明るく、充実した生活を送れるために、差別をなくす方法を一つ考えました。

方法は標語を広めていくことです。調べてみると、たくさんの標語が出てきました。しかし、皆さんは、そのような標語を見る機会は少ないのではないのでしょうか。つまりあまりこの現状に関心を持っていない人が多いです。みんなにそのことを知ってもらうために、僕たちから標語を周りに教えて知ってもらい、少しでもみんながその現状に対して、改善の意思を持ってもらい必要でない不平等が少しでも減っていくのではないのでしょうか。

【僕たちから一言】

今回2回目のアクティブラーニングでメンバーもテーマも全く新しく変わり、「不平等」をテーマとして自分の考え、身近な人たちの協力を得て、約2週間これからの平等な社会のために話し合いました。(鬼山)

僕は初めて、アクティブラーニングをしました。最初はわからないことだらけだったけれど、メンバーの人たちと協力して話し合うことができました。(寺田)

今回、不平等について調べたり、考えたりしてとても関心を持つことができました。また、仲間との協力する力もつけることができました。これからの生活に活かしていきたいです。(鶴田)

